

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	前交通動脈瘤に対する半球間裂アプローチ法による嗅覚障害予防の検討		
2. 対象患者	2008年から2015年にかけて前交通動脈瘤(破裂の有無を問わない)に対して開頭クリッピング術を施行した205例を対象とします。年齢、性別は不問です。		
3. 対象となる期間	平成 20年 4月 1日 ~ 平成 27年 3月 31日		
4. 実施診療科等	脳神経外科		
5. 研究責任者	氏名	大熊 洋揮	所属 脳神経外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	嗅覚機能障害は、生活の質に影響を与える深刻な問題の1つであり、前交通動脈(ACoA)動脈瘤手術の重大な合併症である。嗅神経損傷を克服するため、通常の前頭側頭開頭アプローチに比べて合併症回避に優れた外科的手法として半球間裂アプローチを行って来ました。		
8. 研究の目的	本課題は、通常診療の範囲で行われた手術の効果(嗅覚障害の予防)を頭部CTおよびMRI画像データと嗅覚障害出現の臨床評価を元に後方視的に解析するものです。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合があります)	本課題は、通常の治療範囲で行われた開頭クリッピング手技の効果、主に画像データを元に解析することで、旧来の開頭方法より嗅覚障害が予防できているかどうかを後方視的に検証するものです。		
10. 個人情報の保護	解析データの公表に関しては、患者様の氏名、疾患が特定されないよう十分配慮いたします。個人情報、画像データ等は研究代表者の監督の下、パスワードロックされたUSBなどの電子媒体にて厳重に保存保管いたします。		
11. 利益相反に関する状況	本課題は弘前大学医学部附属病院脳神経外科の研究費により実施されます。研究代表者及び共同研究者に対して個人的な資金等の提供や便宜が行われることはなく、本課題は脳神経外科の研究グループによって公正に実施されます。また、本課題の利害関係については、弘前大学臨床研究利益相反マネジメント委員会に届け出ております。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院脳神経外科		
	電話	0172 - 39 - 5115	FAX 0172 - 39 - 5116